

リボンズハウス活動報告

- 【リボンズハウス名】藤田保健衛生大学七栗記念病院 コミュニティドーム
【スペース】1階緩和ケア病棟内 (117.88㎡)
【開所時期】2005年6月 【オープン曜日・時間】毎日7:00~22:00
【スタッフ】緩和ケア・外科の医師、1階病棟スタッフ、ボランティア
【利用状況】緩和ケア病棟入院患者および家族が中心に利用 (年間300名あまり)

1. 2016年度のリボンズハウスの活動内容

①『お茶会』の開催

毎週水曜日 14:00~15:00

ボランティア・スタッフが中心となり、音楽療法やフラワーアレンジや季節を感じられるようなお茶会を実施した。

その時は、ボランティアの手作りのお菓子とコーヒーや紅茶などの飲み物を提供し、患者だけでなく家族にも参加をよびかけ、癒しの場となるようにしている。

②『家族会』の開催

年2回 (2016年度は7月、12月3日) 13:30~16:00

緩和ケア病棟で亡くなった患者の家族を対象にグリーフケアとして行っている。

③がん暮らしフェア2016へスタッフとして参加

2016年10月29日に藤田保健衛生大学病院で開催されたがん暮らしフェアへ、スタッフとして参加

④看取りのパンフレットの修正と活用

せん妄や痛みなどの様々な症状をご家族へ説明する時に使用するパンフレットをよりわかりやすいように修正した。ご家族でも行えるケア方法を追加し、ともにケアに参加できるようかわった。また、患者・家族のご希望を表出できるように転入時のパンフレットを追加作成した。

⑤出前講座

老人保健施設や民生委員を対象とした講義や施設見学を受け入れ、緩和ケアの啓蒙活動に取り組んだ

⑥コンサルジュ活動

患者・家族の希望の聞き取りができるよう活動時間を作った。また療養環境の調整を行った。

2. 今後の活動および課題

若くして亡くられる方も多いため最期まで自分らしく過ごせるようサポートし、エンジェルケアやメイクのやり方を改善するなどビューティケアに取り組みたい。